

取扱説明書 改訂版②

エンジン多機能園芸機

HG-TKHTY44F-6A-T

**混合燃料
25 : 1**

上記以外や 25 : 1 ~ 50 : 1 のような
幅を持たせた混合燃料使用不可

初めてお使いになる方、他社製品を使用し慣れている方

ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みになり、
内容を理解してからお使いください。



このQRコードを
読み取ることで、
「組立て」や
(運転操作の仕方)などを
動画でご覧いただけます。



目次

はじめに	3
安全上のご注意 製品を長くご愛顧いただくために	
安全にお使いいただくために	4
エンジン多機能園芸機に係る安全事項	4
エンジン多機能園芸機の作業に係る安全事項	5
主要諸元	6
振動障害の防止	6
安全ラベル	7
各部の名称	8
梱包部品一覧表	9
組立て	10
本体	10
刈刃ユニット	10
チェーンユニット	10
ヘッジトリマユニット	10
延長棒	10
本体の組立て	11
飛散防止カバーの取付け	11
本体とユニットの接続	12
ユニットパイプの外し方	12
外れない場合は	13
刈刃ユニット（刈刃の取付け）	13
刈刃ユニット（ナイロンカッターの取付け）	14
チェーンユニットの組立て	15
ソーチェーン張りの調整	16
チェーンオイルの給油	16
オイル吐出量の調整	16
ヘッジトリマの角度調整	17
運転前の点検	18
混合燃料 25:1 の作り方	18
燃料の点検・補充	19
チェーンオイルの点検・補充	19
刈刃の点検・交換	19
ソーチェーン点検・目立て	19
ヘッジトリマの点検・交換	19

運転操作の仕方	20
エンジンのかけ方	20
エンジンの止め方	22
作業の仕方	23
刈刃で草を刈る	23
ヘッジトリマで草を刈る	24
ヘッジトリマで垣根の剪定	25
チェーン作業の仕方	26
点検・整備の仕方	28
刈刃ユニットの点検整備・清掃	28
チェーンユニットの清掃	29
チェーンユニットの点検・整備	29
ソーチェーンの目立て	30
ヘッジトリマユニットの点検・整備・清掃	31
ヘッジトリマの刃の交換	32
エアクリーナー	34
点火プラグの点検	34
キャブレターの点検	35
ナイロンコードカッターの交換	35
長期間使用しない時	37
故障かな？と思ったら	38
消耗品一覧	40
消耗品・関連品一覧	41
FAX 見積り・注文用紙	42
保証内容について	43

はじめに

このたびはエンジン多機能園芸機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。
この取扱説明書を熟読しご理解してからご使用ください。
また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。
※誤った取扱をした場合に生じる危険とその程度を次の区分で説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です、必ずお守りください。



警告

誤った取扱をした時に、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの。



注意

誤った取扱をした時に、軽傷または家屋・財産などの損害に結びつくもの。



禁止

取扱においてその行為を禁止します。



指示

指示に基づく行為を強制します。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。
注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をされますと重大な事故につながる恐れがあります。下記を熟読しご理解してからご使用ください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

エンジン多機能園芸機に係る安全事項

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・本製品は、草刈りや垣根の刈り込み、樹木の剪定などする機械です。指定された用途以外には使用しないでください。・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。・改造、分解は絶対行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、弊社の保証サービスは一切受けられなくなります。・正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。・未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。・成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、独自の使用をしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料を補給する時は必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。・燃料をこぼさないように注意してください。・燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。・燃料キャップは確実に閉めてください。・刈刃やソーチェンの取付けは確実に行ってください。・必ず両手でしっかり本体を保持してください。・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。・始動前点検を実施してください。・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。・燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。・本製品をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・子供の手の届かない安全な場所に保管してください。・ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよくご理解の上でご使用ください。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">・古い燃料は使用しないでください。・25：1の混合燃料以外は使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none">・燃料は25：1の混合燃料を使用してください。・本製品をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。・使用中に異常音、異常振動があった時は、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。・部品交換は、純正部品を使用してください。・定期点検整備を行ってください。

安全にお使いいただくために

エンジン多機能園芸機の作業に係る安全事項

警告



禁止

- 身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は使用しないでください。
- 動作中にソーチェンや回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ご使用時は、使用者から15m内は危険です。人やペットが入らないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くない時は使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- はしごや脚立などの不安定な場所、姿勢で使用しないでください。
- 急傾斜地では使用しないでください。
- チップソーやナイロンカッターは左から右に動かさないでください。キックバックの危険があります。
- ガイドバーの先端では、切断しないでください。キックバックの危険があります。
- チェンソーで地面を掘り返すような使用はしないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。
- エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。



指示

- 運転中は、排気ガスに十分注意してください。
- 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- 長い髪は束ねて帽子、ヘルメットでカバーしてください。
- 適切な時期に休憩をとってください。
- 本製品から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- キックバックに注意してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止して運搬してください。
- 持ち運ぶ時は、エンジンを停止し、刈刃やソーチェンが完全に止まってから、燃料タンクから燃料を抜いてください。



注意



禁止

- 機械の可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。
- エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
- 石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。



指示

- 作業中に異物に当たった場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本製品を再始動しないでください。
- 万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
- 本製品を長時間保管する時は、取扱説明書に従って保管してください。

注意

- 弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。
- 燃料タンクに4ストローク用オイル、チェーンオイルを入れしないでください。



主要諸元

モデル名	HG-TKHTY44F-6A-T
型式	2ストロークエンジン
排気量	52 cm ³ (52cc)
燃料	混合燃料 25:1
燃料タンク容量	1.2L
起動方式	リコイルスターター方式
寸法（長さ×幅×高さ）	本体1040×250×240mm
寸法（全長）	刈刃ユニット770mm チェーンソーユニット1170mm ヘッジトリマユニット1320mm 延長棒980mm
重量	本体5.8kg 刈刃ユニット1.7kg チェーンソーユニット1.8kg ヘッジトリマユニット2.3kg 延長棒1.0kg
三軸合成値	6.5m/s ² K=1.5
センターボルトサイズ	M10×1.25
刃受け金具サイズ	Ø25.4mm

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

●1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

①10m/s ² より小さい場合		②10m/s ² より大きい場合	
1回の連続作業時間	10分以内	1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内	1日の作業時間	T: 1日の最大作業時間 T=200 ÷ (a×a) a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値(m/s ²)

●製造時の振動レベル維持のため

- ・定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

安全ラベル

本製品の本体、アタッチメントに下記の安全に関するシールが貼付けされています。

ご使用前にご確認ください。

なお、シール内容は製品改良など諸条件により予告なく変更になる場合があります。ご了承ください。



不注意または不適切な使用で怪我をする恐れがあります。



ご使用前に取扱説明書をよく読んでください。



防護メガネ、耳栓、マスクを着用してください。



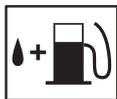
常に保護手袋を着用してください。



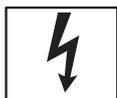
すべり止めがついている安全靴を着用してください。



使用中及び使用後はマフラー周囲が高温になります。絶対に触れないでください。



ガソリンとオイルの混合比：25：1を使用してください。



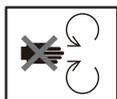
プラグ高圧注意

感電のおそれあり。
運転中は、点火プラグや高圧コードに触れないでください。



火気厳禁

・給油時はエンジン停止。
・火災の危険あり。
・給油口に火を近づけないでください。



切断の危険

回転部に絶対にさわらないこと。
けがをするおそれがあります。



火気を近づけないでください。



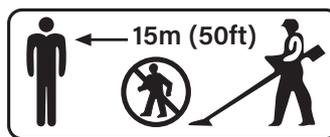
足元に注意してください。



排気ガスは人体に有害です。直接吸わないでください。



騒音レベル 114デシベル



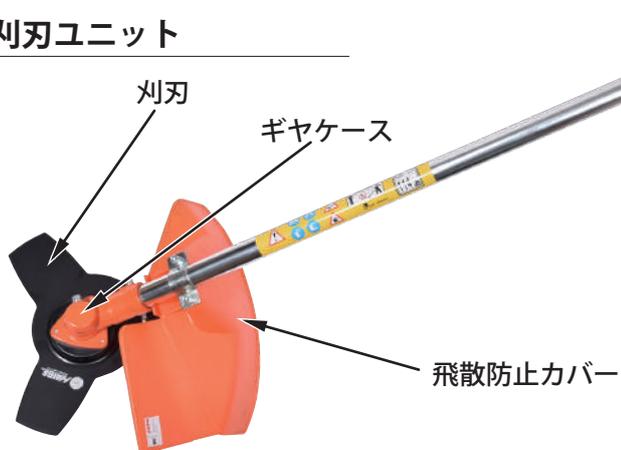
作業者は、傍観者や動物を15メートル以内に近づけないでください。同じ作業領域で作業している場合は、安全な距離を維持してください。お互いから少なくとも15メートルです。

各部の名称

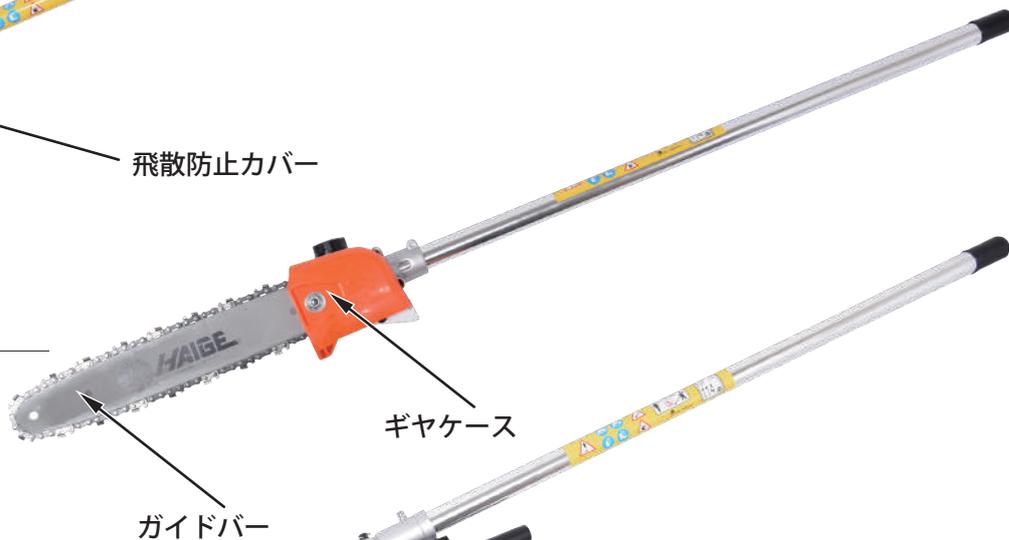
本体



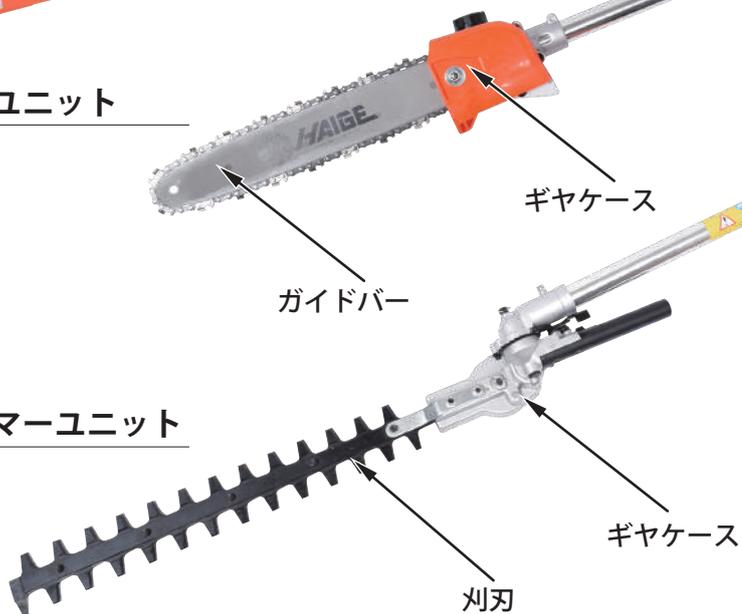
刈刃ユニット



チェーンソーユニット



ヘッジトリマーユニット



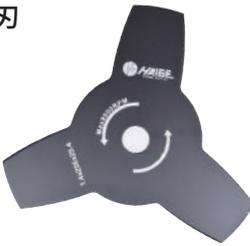
梱包部品一覧表

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、すべてが完全であることを確認してください。
 2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
 3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。
- 不足している場合は、お手数ですがハイガー産業株式会社までご連絡ください。



警告

・不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 刈刃ユニット</p> 		
<p>C. チェンソーユニット</p> 	<p>D. ヘッジトリマーユニット</p> 		
<p>E. 延長棒</p> 	<p>F. ガイドバー</p> 		
<p>G. ハンドル</p> 	<p>H. 刈刃</p> 	<p>I. ナイロンカッター</p> 	
<p>J. 飛散防止カバー</p> 	<p>K. ソーチェン</p> 	<p>L. チェンソーカバー</p> 	
<p>M. 肩掛けストラップ</p> 	<p>N. サポートクッション</p> 	<p>O. 混合タンク</p> 	<p>P. 工具</p> 

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。

組立て

警告

- 組立を行う時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。
- 組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。

組立には工具を使用します。
必ず用途やサイズの合ったものを使用し、自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。

本機は、多機能園芸機です。
用途に合わせて、ユニットを交換します。

本体

本体には、ハンドル、肩掛けストラップを取付けます。



刈刃ユニット

刈刃またはナイロンカッター、飛散防止カバーを取付けます。
草刈りに最適です。



チェーンソーユニット

ガイドバー、ソーチェンを取付けます。
枝落としに最適です。



ヘッジトリマーユニット

ヘッジトリマーを取付けます。
垣根の剪定、草刈りに最適です。



延長棒

チェーンソーユニットを取付けます。
より高い枝落としに最適です。



組立て

本体の組立て

本体に、ハンドル、肩掛けストラップを取付けます。

- 1 ハンドルに仮留めされているボルト4本を一旦外します。



- 2 パイプにサポートクッションをはめ、ハンドルの上下で挟み込みます。



- 3 4本のボルトを均一に締め、ハンドルをしっかり固定します。



- 4 肩掛けストラップのフックをメインパイプにあるハンガーにかけます。



飛散防止カバーの取付け

- 1 飛散防止カバーに刃刃ユニットをセットします。



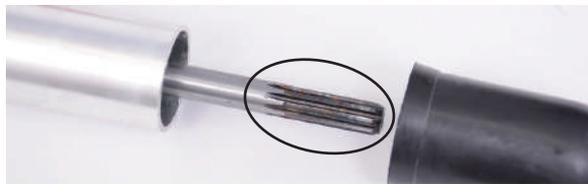
- 2 取付金具をボルトで固定します。



組立て

本体とユニットの接続

- 1 本体と接続する際は、毎回シャフトにグリス(シエルアルバニヤNo2又は相当品)を塗布します。



- 2 ノブナットを緩め、ユニットパイプのロック穴を上にして突き当たるまで挿込みます。



- 3 本体パイプのロックハンドルをパイプ側に倒し、ノブナットを時計回りに回して、ロックハンドルが開かないようにしっかり固定します。



- 4 本体パイプとユニットパイプが確実に接続されたことを確認してください。

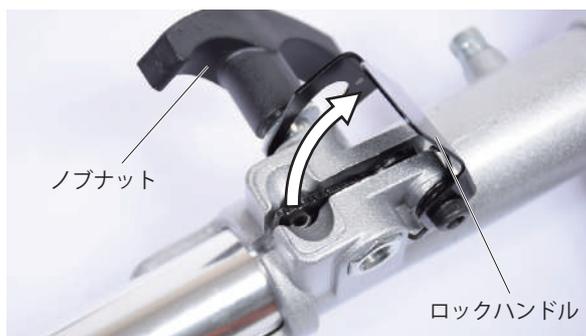
■延長棒

必要に応じ、本体パイプとチェンソーユニットパイプ、ヘッジトリマーユニットパイプの間に、延長棒を接続することができます。



ユニットパイプの外し方

- 1 ノブナットを緩めるとロックハンドルがバネで跳ね上がります。



- 2 ユニットパイプを本体パイプ側に押し込みます。



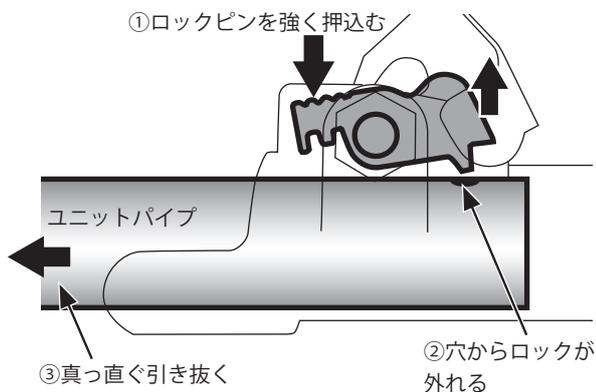
組立て

- 3** パイプを胸の前など力が入る位置に持っていき、ロックピンを強く押しながらユニットパイプを真っ直ぐ引抜きます。
 ※安全のため、簡単には外れないよう固めになっています。そのため押し込みが足りないと外せません。



🔑 外れない場合は

ノブナットを緩め、ドライバー等で溝部分を広げることで、抜けやすくなります。



※ロックピンがユニットパイプの穴から外れていない状態でユニットパイプを左右に回すとロックピンが曲がり、パイプが抜けなくなります。
 ※パイプは真っ直ぐ引抜かないと抵抗になり抜けません。

⚠ 警告

・刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

刈刃ユニット (刈刃の取付け)

- 1** まず、駆動軸が回らないように、付属の六角レンチをギヤケースの穴と刃受け金具の穴に挿込み、取付け作業を行います。



- 2** 刈刃3枚刃をズレがないように挿込みます。



- 3** 刃押さえ金具を挿し込みます。(凸部が上)



組立て

- 4 ナットカバーを挿込みます。



- 5 駆動軸が回らないように、付属の六角レンチを押さえながら、取付けナットをしっかりと締めます。(反時計回り)

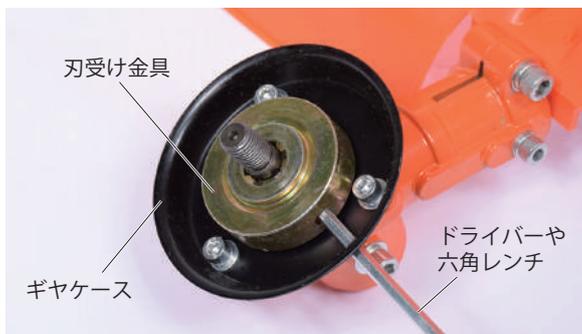


ドライバーや六角レンチ

※市販のチップソー（直径255mm）に交換することが出来ます。（センター穴径25.4mm）

刃刃ユニット（ナイロンカッターの取付け）

- 1 駆動軸が回らないように、付属のドライバーや六角レンチをギヤケースの穴と刃受け金具の穴に挿込んだ状態にします。



- 2 ナイロンカッターのネジ部を駆動軸にねじ込み、しっかりと締めてください。（反時計回り）



組立て

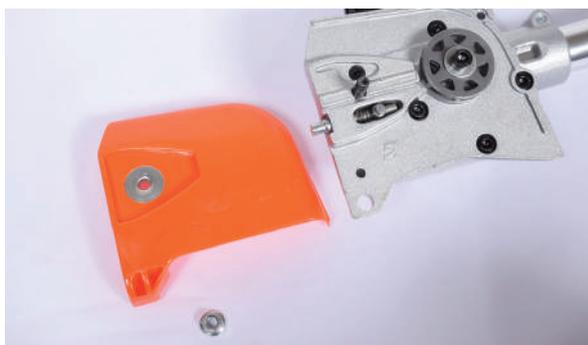


警告

・刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

チェーンソーユニットの組立て

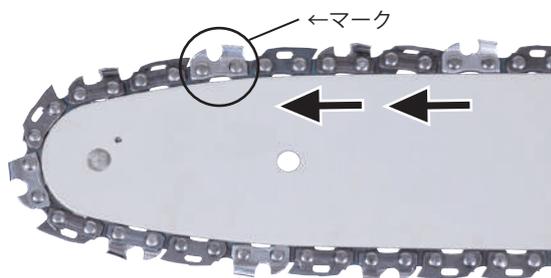
- 1** チェンカバー取付けナットを外し、チェンカバーを取外します。



- 2** ガイドバーをスプロケット寄りに取付けます。

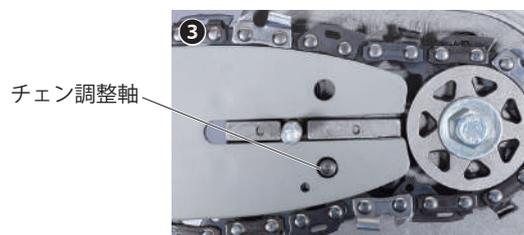


- 3** ソーチェーンを、刃の向き（←マークが回転方向）に注意してスプロケットにかけ、ガイドバーの溝に入れていきます。



※左記方法でソーチェーンが入れづらい場合は、

- ①** 先にスプロケットにソーチェーンをはめ、
② 次のガイドバー先端からソーチェーンをはめていき、
③ 最後にガイドバーの穴をチェーン調整軸にはめます。



- 4** チェンカバーを取付け、チェンカバー取付けナットを軽く締めてください。



組立て

ソーチェン張りの調整

ソーチェンは常に適正な張りに調整してください。新しくソーチェンを取付けた時は、伸びが大きいいため、頻繁に張りの調整をしてください。

ソーチェンの張りが弱いと外れやすくなります。また強いとソーチェン、ガイドバーなどの部品の早期摩耗の原因となります。

- 1 ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェン張り調整ネジを時計回り(右方向)に回してソーチェンを張ります。



- 2 ガイドバーの先端を持ち上げながら、チェンカバー取付けナットをしっかりと締めます。



- 3 ソーチェンが手で動くことを確認します。

- 4 ソーチェン張りは、ガイドバーとの隙間が出ないように張ります。

一度スイッチを入れチェンを回し、たるみがあれば張りの調整をします。



チェンオイルの給油

チェンオイルを準備してください。
SAE 10W-30 (4 サイクル用エンジンオイル) 又はチェンソー専用オイル

- 1 オイルタンクキャップ面を上にして開け、チェンソーオイルを給油します。
給油後はキャップをしっかり締めてください。



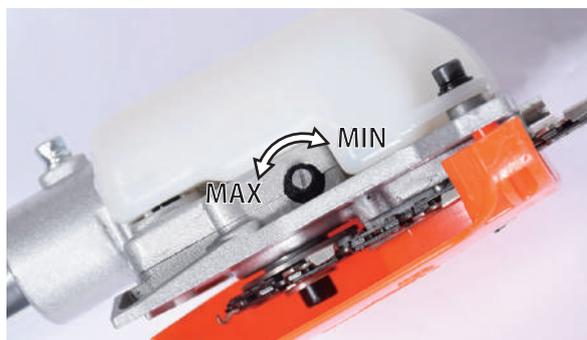
オイル吐出量の調整

硬い木、太い木を切る場合、冬季にオイル粘度が高くなり吐出量が少なくなった時などに、吐出量の調整を行います。

- 1 付属品のマイナスドライバーを準備します。
- 2 製品の底部にある調整ネジを押しながら回して、吐出量を調整します。(約 90° の範囲で 3 段階の調整が可能) 反時計回りに回すと吐出量が増えます。

⚠ 注意

- 回し過ぎや押さずに回すと破損します。
- 破損した場合は、チェンソーアタッチメントの交換(保証対象外。アタッチメント価格 8,700 円(税抜))になりますのでご注意ください。



組立て



・刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

ヘッジトリマの角度調整

- 1 ロックレバーとクランプレバーを指で挟むとヘッジトリマの刃部分のロックが外れ、角度の調整が出来ます。



運転前の点検

警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

注意

- ・燃料キャップは確実に締めてください。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイルを入れないでください。



混合燃料 25:1 の作り方

市販の25：1～50：1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。

エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1** ・無鉛レギュラーガソリン
・2ストローク用オイル JASO FB 級以上
・漏斗(じょうご)
・混合タンク(付属)
を準備します。
- 2** 混合タンクを25：1と表示されてる向きにします。
- 3** 左にオイル、右にガソリンを入れます。オイルを"5"の位置まで入れた場合、ガソリンも"5"まで入れます。

- 4** 混合タンクのキャップをしっかり締め、混合タンクを振り、カクハンします。



運転前の点検

燃料の点検・補充

使用燃料	混合ガソリン(25:1)
------	--------------

燃料（混合ガソリン）の量を点検します。

- 1 混合ガソリン (25:1) を準備します。
- 2 燃料キャップ面を上にして開けます。



- 3 混合ガソリン(25:1)を少しずつこぼさないように給油します。
- 4 補給後、給油キャップを確実に閉めます。

チェーンオイルの点検・補充

チェーンオイル	SAE 10W-30 (4 ストローク用エンジンオイル) 又はチェーン専用オイル
---------	--

チェーンオイルの量を点検します。

- 1 チェンオイルを準備します。
- 2 オイルタンクキャップ面を上にして開けます。



- 3 チェンソーオイルを給油します。
- 4 給油後はキャップをしっかり締めてください。

警告

・刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

刈刃の点検・交換

刈刃の状態を点検し、不具合がある場合は新しい刈刃に交換します。

- 1 刈刃の緩み、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗が無い点検します。
- 2 不具合がある場合は、新しい刈刃に交換します。

ソーチェン点検・目立て

ソーチェンの緩み、欠け、摩耗が無い点検します。緩みがある場合は張りの調整を行います。(P.16 参照) 欠けや摩耗がある場合は、交換又は目立てを行います。(目立てはP.30参照)

ヘッジトリマの点検・交換

ヘッジトリマの状態を点検し、不具合がある場合は新しい刃に交換します。

- 1 刃の緩み、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗が無い点検します。
- 2 緩みがある場合は締付けます。刃に歪みや曲がりがなく、動きが鈍い場合は、締付けを少し緩めます。(P.33 参照)
- 3 刃に歪みや曲がり、欠けなど不具合がある場合は、新しい刈刃に交換します。(P.32 参照)

運転操作の仕方

警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手又は足を入れしないでください。



指示

- ・エンジン始動時、刈刃が回り始めることがあるので、刈刃が地面等に触れていないことを確認してください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れる時は必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止してください。

注意

- ・エンジンを始動する時は、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

エンジンのかけ方

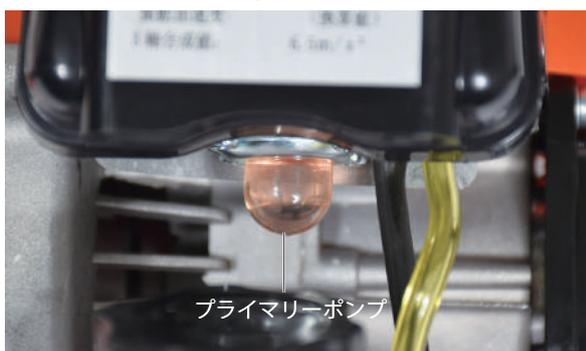
■エンジンが冷えている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。

- 1 エンジンスイッチをON「一側」にします。



- 2 プライマリーポンプを5~6回繰り返し押し、燃料が来ていることを確認します。



- 3 チョークレバーを閉「OFF側」にします。



- 4 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っすぐに素早く60~70cm引張ります。
※引く距離が短いとエンジンはかかりません。



注意

- ・チョークレバーを「閉」の状態でも、リコイルスターターを引っ張り続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。

運転操作の仕方

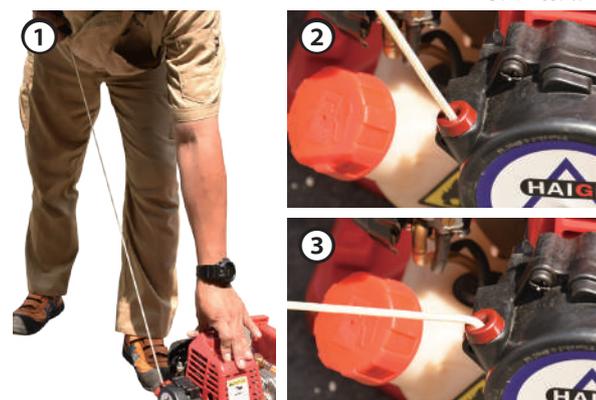
- 5 初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、5回繰り返します。

⚠ 注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

👉 リコイルの引き方ポイント

※写真は別機種



- ①良い例：約70cm引いている所。
- ②良い例：穴に対してロープが真っ直ぐ。
- ③悪い例：抵抗がありエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

●初爆が確認できた場合

- 1 チョークレバーを開「ON側」にします。



- 2 リコイルスターターを素早く数回引きます。
※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。
- 3 エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。
- 4 エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。(エンジンをふかす)P.22 参照

●初爆が確認できなかった場合

- 1 万が一初爆を聞き逃した場合でも、リコイルスターターを引くことは5回でやめてください。それ以上行くと点火プラグを燃料で濡らしてしまいエンジンがかからなくなります。
- 2 チョークレバーを開「ON側」にします。



- 3 リコイルスターターを素早く数回引きます。
※エンジンが冷えている時や燃料切れで補充した時は、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。
- 4 エンジンがかかったら、そのまま暖気運転を30秒程度行います。
- 5 エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。(エンジンをふかす)P.22 参照

●初爆と同時に始動した場合

- 1 チョークレバーを開「ON側」にします。



- 2 そのまま暖気運転を30秒程度行います。
- 3 エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。(エンジンをふかす)P.22 参照

運転操作の仕方

■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

- 1 エンジンスイッチを ON「一側」にします。



- 2 プライマリーポンプを5～6回繰り返し押し、燃料が来ていることを確認します。



- 3 チョークレバーを開「ON側」にします。



- 4 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真すぐに素早く60～70cm引張ります。エンジンがかかるまで数回繰り返します。
※引く距離が短いとエンジンはかかりません。

⚠ 注意

- ・ロープを最後まで引き切らないでください。
- ・一度に6回以上は引張らないでください。
- ・引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

- 5 エンジンがかからない場合は、P.20の「寒い時やエンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。

👉 エンジンの回転数の上げ方

セーフティボタンを押した状態でアクセルトリガーを引くとエンジン回転が速くなります。



ロックボタンを押しながら、セーフティボタンとアクセルトリガーをゆっくり握っていくとロックボタンが押込まれ、アクセルトリガーがエンジン始動位置で固定されます。

エンジンの止め方

- 1 アクセルトリガーより手を放し、低速運転にします。



- 2 エンジンスイッチを OFF「〇側」に押しします。



作業の仕方

警告

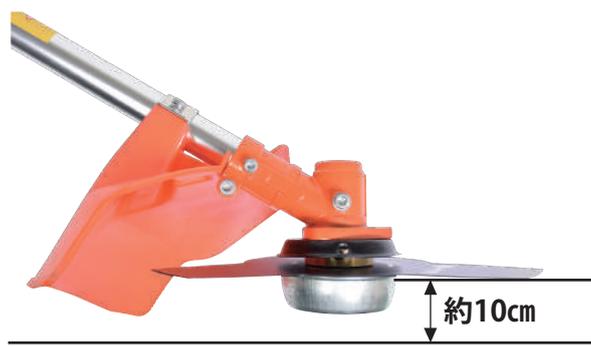
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・身体の調子が悪い時、判断力に影響するような酒類、薬物を服用している時は、使用しないでください。 ・動作中に回転部分に顔や手足、髪の毛、衣服等を近付けないでください。 ・ご使用時は、使用者から15m内は危険です、人や動物が入らないようにしてください。 ・夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。 ・足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。 ・作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刈刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。 ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な時期に休憩をとってください。 ・石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。 ・本機から離れる時は、必ずエンジンを停止してください。 ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。 ・キックバックに注意してください。 ・少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。 ・肩掛けストラップに本体を吊り下げ、しっかりハンドルを握って操作してください。 ・燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。 ・急傾斜地では使用しないでください。

刈刃で草を刈る

- 1 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- 2 作業場所にある石や空き缶、木片、障害物を取除きます。
- 3 エンジンを始動します。(P.20参照)
- 4 刈刃の高さが地面から10cm位になるように事前にストラップの長さを調整します。
エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



※製品が見やすいように半袖を着用



- 5 ハンドルの握りを緩めた時でも、刈刃の地面からの高さが大きく変化しないことを確かめます。
- 6 刈払い作業は、本体を動かさずに、腰の移動で刈刃を水平にし、右から左に弧を描くように行います。左から右へ動かすとキックバックにより危険です。

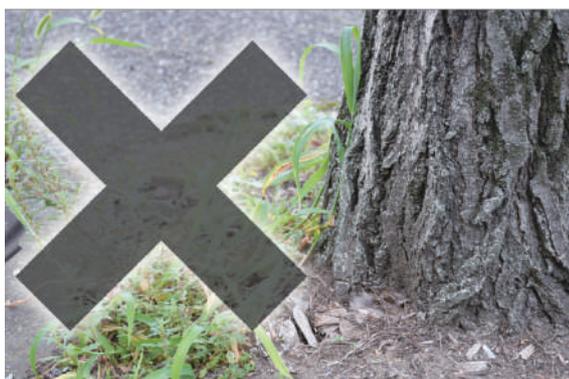


作業の仕方

- 7** 緩やかな傾斜地で使用する場合は、上下方向よりも、横方向に行うようにします。

⚠ 注意

- ・刈刃を樹木や硬いものに当てないでください。ギヤの故障の原因になります。



樹木などに当てないでください。



縁石やレンガ等硬いものに当てないでください。

- 8** 縁石、石垣、硬い構造物等のキワの草刈りをする場合は、ナイロンカッターを使用します。



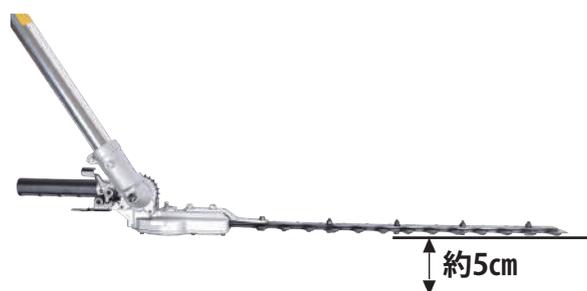
- 9** 使用後は、必ず各部の清掃を行ってください。

ヘッジトリマで草を刈る

⚠ 注意

- ・刈刃が硬い障害物に当たったら、エンジンを止めて異常がないか確認してください。

- 1** 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- 2** 作業場所にある石や空き缶、木片、障害物を取除きます。
- 3** エンジンを始動します。(P.20参照)
- 4** ヘッジトリマの高さが地面から5cm位になるように事前にストラップの長さを調整します。エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



- 5** ハンドルの握りを緩めた時でも、刈刃の地面からの高さが大きく変化しないことを確かめます。
- 6** ヘッジトリマ作業は、本体を動かさずに、腰の移動で刃を水平にし、左右にゆっくり振りながら行います。決して早く振らないでください。
- 7** 使用中と使用後の手入れをします。1時間に1回はワイヤブラシで清掃し注油してください。

作業の仕方

ヘッジトリマで垣根の剪定

警告

- ・はしごや脚立に立っての作業は絶対に行わないでください。
- ・顔や頭の近くに刃を持ってこないでください。

注意

- ・ヘッジトリマで垣根や樹木の太い枝等を剪定しないでください。またフェンスなどに当てないでください。ギヤの故障の原因になります。



太い枝は、刈込を始める前にチェーンソーやノコギリなどで、刈込み位置より10cm程度内側で切っておいてください。

- 1 長袖、長ズボン、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスクなどの作業に適した服装を着用してください。
- 2 エンジンを始動します。(P.20参照)
- 3 剪定する垣根に合わせ、ヘッジトリマの高さが無理のない位置になるように事前にストラップの長さを調整します。
エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。

※製品が見やすいように半袖を着用



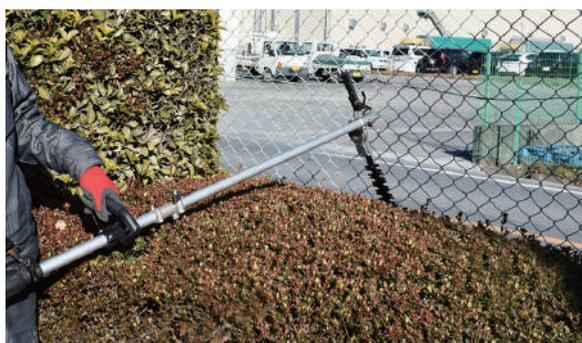
■基本的な操作 (生垣の刈込)

正しい位置に本機を保持し、常に両手で操作をしてください。

- 1 本機の切断していく能力より早く送りますと、枝が曲がって導入され、高さが揃いません。
- 2 一定の高さに揃えたい場合には、タコ糸や水引糸などを水平に張り、その高さに沿って刈るときれいに仕上がります。
- 3 上面を刈込む場合には、一方向からだけでなく立つ位置を変えて、いろいろな方向から刈るときれいに仕上がります。
- 4 高めの生垣や樹木を刈込む場合は、刈刃の角度を変えることで刈込めます。



- 5 身体が入りにくい部分の生垣を刈込む場合は、刈刃の角度を変えることで刈込めます。



作業の仕方

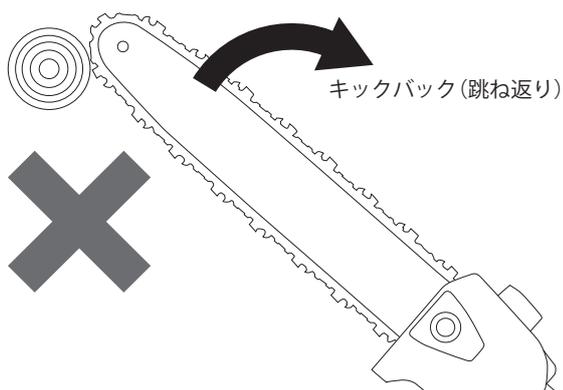
- 6 使用中と使用後の手入れをします。1 時間に 1 回はワイヤブラシで清掃し注油してください。



チェーンソー作業の仕方

警告

- ・はしごや脚立に立っての作業は絶対に行わないでください。
- ・切断した枝葉等が飛び散りますので、フェイスプロテクター等を装着して作業を行ってください。
- ・電線のある場所で作業を行わないでください。
- ・切断する枝の真下に立って作業を行わないでください。枝が落下して危険です。
- ・ガイドバーの先端部分を使って切断しないでください。キックバック（跳ね返り）が起きて大変危険です。



注意

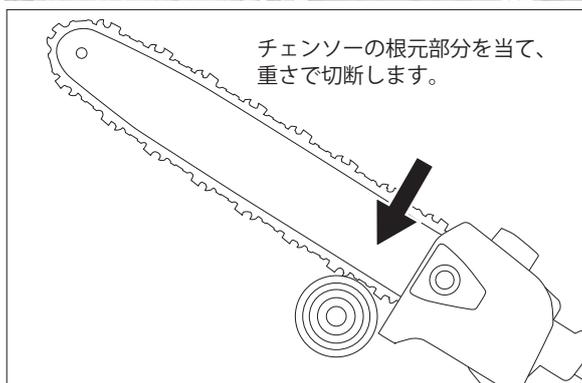
・チェーンオイルは必ず入れてください。

- 1 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい靴、手袋、保護メガネ、ヘルメット、防塵マスクなどの作業に適した服装を心掛けてください。
- 2 エンジンを始動します。（P.20参照）
- 3 チェンソー操作がしやすい位置に事前に肩掛けストラップの長さを調整します。
エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



※製品が見やすいように半袖を着用

- 4 チェンソーの重さを利用して、枝の剪定をしていきます。



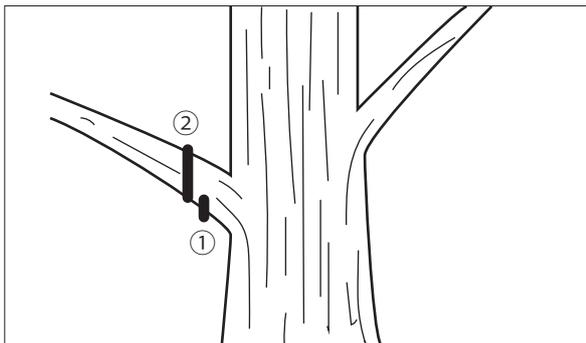
作業の仕方

■基本的な操作

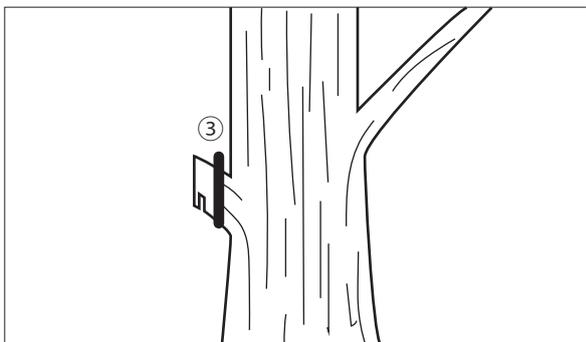
正しい位置に本機を保持し、常に両手で操作をしてください。

1 枝の根元近くの下面に浅く切込み（直径の1/4程度）を入れます。

2 枝の先端より上面から切込みを入れます。これで枝が切断されます。



3 最後に枝の根元を切断することで切断面がきれいになります。



4 使用中定期的にチェーンオイルが入っているか確認し、不足している場合は給油してください。

5 使用後は、各部の清掃を行ってください。清掃を怠ると次回使用する際に動かなかったり、切れ味が落ちたりする原因になります。(P.29 参照)

6 移動する時や使用しない時は、チェーンソーカバーを取付けます。



点検・整備の仕方

警告

- ・点検整備をする時は、必ずエンジンを停止してから行ってください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。
- ・ギヤケース内の部品の破損が確認された場合は、新しいアタッチメントをご購入ください。

刃ユニットの点検整備・清掃

刃ユニットをご使用後は、毎回各部の清掃を行ってください。清掃をせずにそのまま使用を続けると、故障の原因になります。

刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常がある時は新品と交換してください。

■ギヤケースのグリス補充の仕方

- 1 50時間使用毎にグリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)を市販の注入器で補充します。



- 2 2カ所の六角ボルトを外しパイプを外します。



- 3 ギヤケース横側にあるグリスニップルからグリス注入器のチャックノズルを使用してグリスを注入します。

チャックノズルがない場合は、グリスニップルを8mmのスパナで外し、直接注入します。



グリス注入器のチャックノズルでの注入



グリスニップルを外して直接注入

- 4 ギヤケース内を覗き込み、古い(変色した)グリスが押し出されるまで注入します。

変色したグリスは取除きます。外したパイプ内のグリスも取除きます。

※市販のパーツクリーナー等を吹き付けて拭取るときれいに取除けます。



点検・整備の仕方

チェーンユニットの清掃

●ソーチェーンの清掃

ソーチェーンはガイドバーから外し、木屑等の詰まりを毎回取除いてください。

また、刃こぼれがないか確認してください。

互換ソーチェーン	OREGON (オレゴン) 91PX44
----------	----------------------

●チェーンカバーの清掃

チェーンカバーを外し、中にたまった木屑等をブラシなどで毎回清掃をしてください。

●チェーンオイル吐出口・スプロケットの清掃

チェーンオイル吐出口が、木屑等で詰まるとオイルがチェーンに行きわたらず、故障の原因になりますので、毎回清掃をしてください。また、スプロケットやその周辺も丁寧に清掃をしてください。



●ガイドバーの清掃

ガイドバーのチェーンオイル注入口が、木屑等で詰まるとオイルがチェーンに行きわたらず、故障の原因になりますので、毎回清掃をしてください。

また、ガイドバーの溝も毎回清掃してください。



チェーンユニットの点検・整備

チェーンオイルを点検し、不足している場合は補給します。また、ギヤケースに、50時間毎にグリスの補充をします。

■チェーンオイル点検手順

- 1 オイルタンクキャップ面を上にして開けます。
- 2 タンク内のオイル量を点検します。
- 3 チェーンオイルの不足はガイドバー、ソーチェーンの摩耗を早め故障の原因になります。不足にならないよう補充します。

■チェーンオイルの補充

- 1 SAE10W-30 (4ストローク用エンジンオイル) 又はチェーン専用オイルを準備します。
- 2 オイルタンクキャップ面を上にして開け、チェーンオイルを給油します。
- 3 オイルキャップをしっかりと締めます。

■ギヤケースのグリス補充の仕方

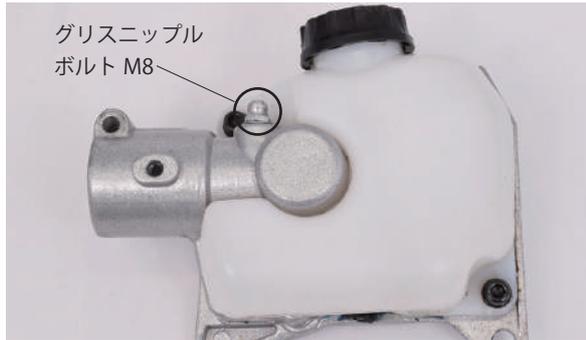
- 1 50時間使用毎にグリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)を補充します。



- 2 2カ所の六角ボルトを外しパイプを外します。



点検・整備の仕方



- 3** ギヤケース上側にあるグリスニップルからグリス注入器のチャックノズルを使用してグリスを注入します。
チャックノズルがない場合は、グリスニップルを8mmのスパナで外し、直接注入します。



グリス注入器のチャックノズルでの注入

- 4** ギヤケース内を覗き込み、古い（変色した）グリスが押し出されるまで注入します。
変色したグリスは取除きます。外したパイプ内のグリスも取除きます。
※市販のパーツクリーナー等を吹き付けて拭取るときれいに取除けます。



ソーチェンの目立て

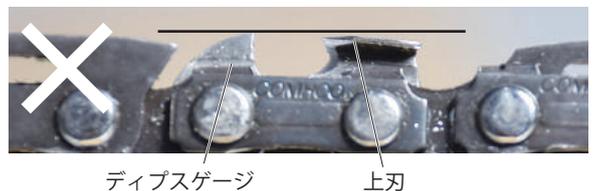
刃の切れ味が悪くなった時、ソーチェンの刃の目立てを行います。（手袋着用）

■使用工具 市販の丸ヤスリ（ $\varnothing 4\text{mm}$ ）、平ヤスリ

- 1** ソーチェンの張りを適正にします。（P.16 参照）
- 2** 目立ては、ヤスリを押し出す時だけヤスリをかけます。同じ向きの刃をすべて研ぎ終わったら、反対側の向きの刃を研ぎます。



- 3** 上刃がディプスゲージより低くなった場合は、ディプスゲージの上部を平ヤスリで研ぎます。



※市販品でヤスリの角度を一定に保つ道具があります。それを活用するのもひとつの手です。

点検・整備の仕方

ヘッジトリマユニットの点検・整備・清掃

ヘッジトリマユニットをご使用後は、毎回各部の清掃を行ってください。清掃をせずにそのまま使用続けると、故障の原因になります。

刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常がある時は新品と交換してください。

■ギヤケースのグリス補充の仕方

- 1** 50時間使用毎にグリス(シェルアルバニヤNo2又は相当品)を補充します。



- 2** 2カ所の六角ボルトを外しパイプを外します。



- 3** ギヤケース上側にあるグリスニップルからグリス注入器のチャックノズルを使用してグリスを注入します。
チャックノズルがない場合は、グリスニップルを8mmのスパナで外し、直接注入します。



- 4** グリスニップル④からはグリスがギヤケースから古い(変色した)グリスが押し出されるまで注入します。変色したグリスは取除きます。外したパイプ内のグリスも取除きます。



グリス注入器のチャックノズルでの注入

- 5** グリスニップル⑥からはグリスをいっぱいになるまで補充します。
ギヤケースからは、グリスを多く注入した時や使用中にギヤケースから出てくる場合がありますが、故障ではありません。



- 6** ギヤケース点検時にカバーを開け、古いグリスを取除き、新しいグリスを直接塗布します。



※古いグリスは、市販のパーツクリーナー等を吹き付けて拭取るときれいに取除けます。

点検・整備の仕方

ヘッジトリマの刃の交換

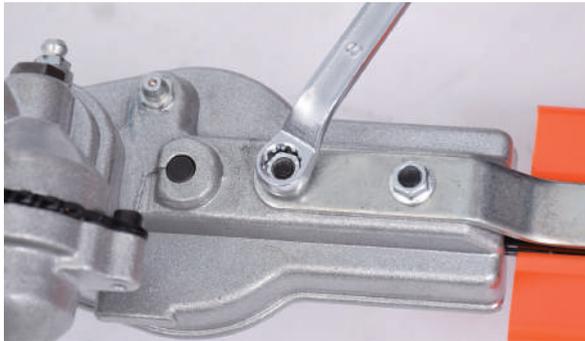
■使用工具 3mm六角レンチ(付属)、8mmスパナ(付属)、8mmメガネレンチをご用意ください。



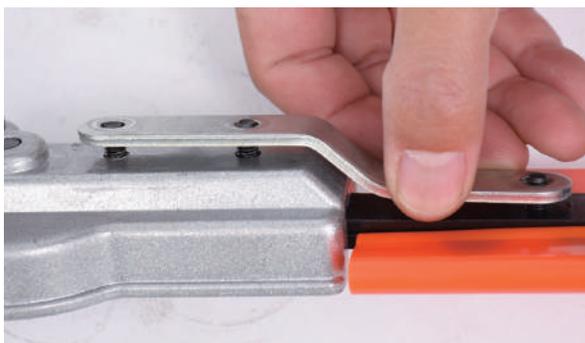
警告

・刃の取扱は、手袋着用の上、行ってください。

1 ギヤケースと刃を固定しているステーのナットを8mmのスパナかメガネレンチで外します。



裏側のボルトをスパナで押さえながらメガネレンチでナットを外します。



2 ギヤケース裏側の六角ボルト7カ所を外します。



3 ガasket付きプレートを外し、ロッドとフェルトパッキンを外します。



ロッド



フェルトパッキン

4 刃裏側のボルトをスパナで押さえながら、表側のナットをメガネレンチですべて外します。



5 刃裏側のボルトもすべて外します。



点検・整備の仕方

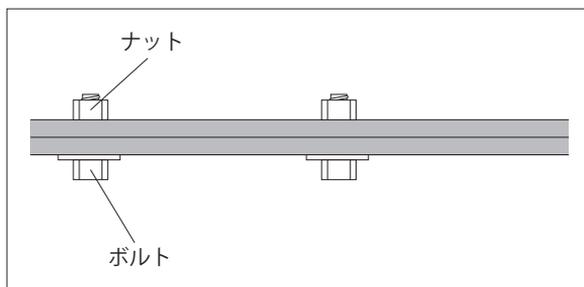
6 刃を外します。



7 新しい刃に交換します。

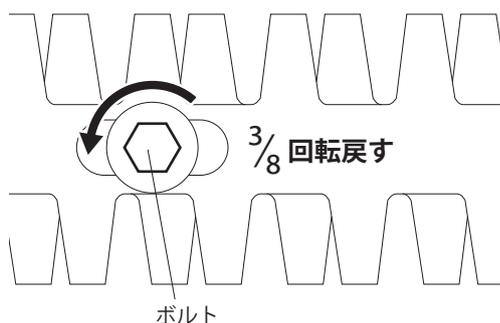
8 取外しと逆の手順で刃を取付けます。

この時、刃を固定するボルト、ナットの締付けがあまいと刈れません。逆に締め過ぎると動きが鈍くなり、ギヤに負荷がかかり故障の原因になります。

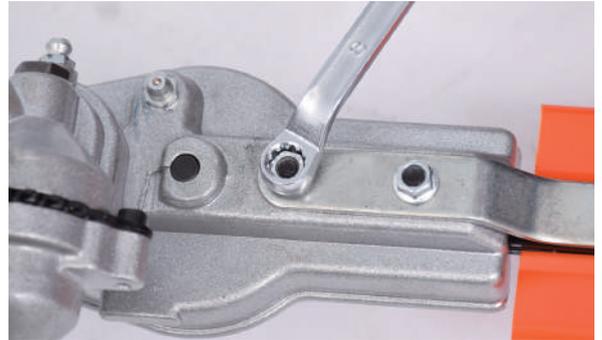


🔑 締付けのワンポイント

ボルトを最後まで締め、そこから3/8回転ほど戻した所で、ボルトを動かさないようにスパナで固定しながらナットをメガネレンチで締付けます。



9 ギヤケース裏側のフタを取付け、ステーを取付けます。



点検・整備の仕方

エアクリーナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどい時はよく洗います。

■点検手順

- 1 エアクリーナーカバーのラベルをはがし、六角ボルトを付属の六角レンチで反時計回りに回すとカバーが外れます。



- 2 エアフィルタの汚れをエアガンやエアダスター等で吹き飛ばします。



- 3 エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

点火プラグの点検

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃します。

■点検手順

- 1 プラグキャップを取外します。



- 2 プラグレンチで、点火プラグを取外します。



- 3 電極の周辺にオイルや堆積物が付着している場合は、清掃します。



適応点火プラグ	BPM7A(NGK)
---------	------------

- 4 取外しと反対の手順で取付けます。

点検・整備の仕方

キャブレターの点検

エンジンが吹き上がらない、アクセルを上げた時にエンジンが止まる、そんな時は、下記の要領でキャブレターを調整してください。



- 1 現時点の位置から反時計回りに 1 回転させることで、吹き上がりが良くなります。



- 2 上記で調子が悪くなった場合は、時計回りに 2 回転させることで、良くなります。



※回転位置が分からなくなった場合は、時計回りに止まるまで回し、その位置から反時計回りに 1 回転半で元の位置に戻ります。そこから再度調整をしてください。

■アイドル調整

暖機運転後、アクセルトリガーを放した状態でもエンジンの回転数が高い場合は、アイドル回転を下げてください。

- 1 ドライバーをアイドル調整穴に挿込み、アイドル調整ネジを回します。
右に回すと回転が上がります。左に回すと回転が下がります。



ナイロンコードカッターの交換

ナイロンコードの交換を行います。

■交換手順

ナイロンコードを準備します。

- 1 スプールケースにあるツメを押し、カバーを押しながら回し、スプールカバーを取外します。

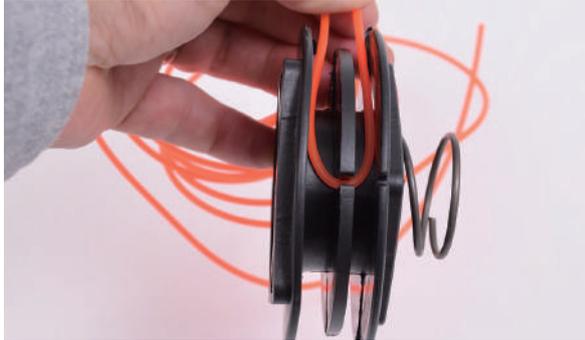


- 2 スプールを取出し、残っているナイロンコードを取去ります。

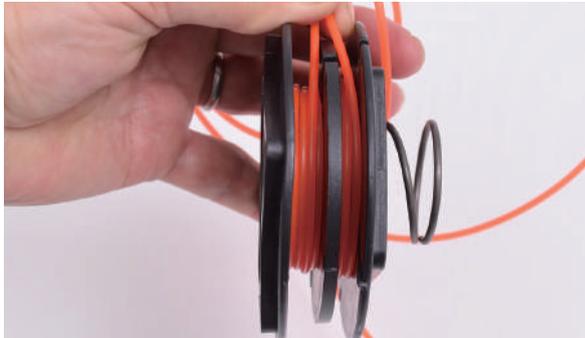


点検・整備の仕方

- 3** 新品のナイロンコードを半分に折り曲げます。
スプールの切り込み部にナイロンコード引っ掛けます。



- 4** ナイロンコードをスプールにしっかり緩みなく巻きつけます。約10cm程度残します。



- 5** まず下側のナイロンコードの先端をスプールケースの穴から出します。



- 6** 次に上側のナイロンコードの先端をスプールケースのもう一方の穴から出します。



- 7** スプールのケースに収め、スプールが飛び出さないように押さえながらカバーをかぶせます。



- 8** ツメを溝に合わせ、押しながら回し固定します。



長期間使用しない時

●本機を2週間以上使用しない時

- 1 燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2 エンジンをかけ、燃料切れで停止するまでアイドリングで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1ヵ月以内に使い切ってください。（燃料は使う前によくカクハンしてから使用してください。）
- 3 エンジンスイッチをOFFにしてください。
- 4 チョークを閉じます。
- 5 各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 6 アタッチメントを外してロックハンドルを開いた状態で保管してください。



- 7 ユニットパイプにキャップをしてください。



- 8 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
エンジンがかからない	燃料の混合比 25：1 以外を使用している	25：1 の混合燃料に交換
点火プラグに火花が出ていない	始動スイッチボタンの不良	交換
	点火プラグ不良	交換 (P.34 参照)
	点火プラグキャップ接続不良	調整
	イグニッションコイルの不良	交換
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除

●エンジンはかかるが、回転があがらない

	エアフィルタの汚れ	清掃又は交換 (P.34 参照)
	キャブレターの調整不良	調整 (P.35 参照)

●アクセルを放しても刃やソーチェンが回る

アイドリングの回転数が高すぎる	キャブレターの調整不良	調整 (P.35 参照)
-----------------	-------------	--------------

●強く押さないと切れない

	チェンソーの摩耗	ソーチェンの目立て (P.30 参照)
	ガイドバーの摩耗	交換

●燃料やオイルが漏れる

燃料やオイルがキャップから漏れる	ゴムパッキンが変形、または硬化	パッキンを外して、再度付け直す又は交換
------------------	-----------------	---------------------

故障かな？と思ったら

点火プラグの点検

※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りで外します。振動等で緩まないよう少し固めに締付けています。

先端が濡れている

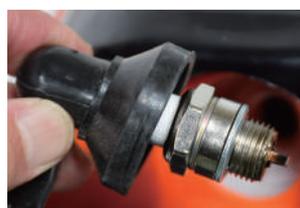
先端は濡れていない

②燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



③リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

②外したプラグをキャップにしっかり取付けます。



③スイッチを入れます。



④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。



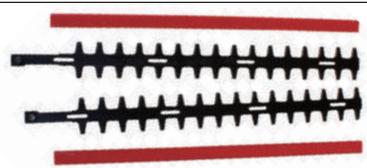
火花が出る

火花が出ない

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

プラグの不良か他の原因が考えられます。購入先にお問い合わせください。

消耗品一覧

商品名		商品コード	
燃料タンクキャップ		tkhty-eg-p72n	
飛散防止カバー		hg-ctcv1n	
延長パイプ アタッチメント		tkhty-bc-p03-01-09-11-12n	
刈刃アタッチメント		tkhty-bcassyn	
ヘッジトリマ アタッチメント		tkhty-htcassyn	
チェーンソー アタッチメント		tkhty-csassyn	
ヘッジトリマ替え刃 (刃のみ)		tkhty-ht-p14n	
10 インチガイドバー		tkhty-cs-p37n	
ソーチェン (ドライブリンク 44)	標準	tkhty-cs-p38n	
	高耐久	hj91-44-1pn	
リコイルスタート アッセンブリ		tkhty-eg-p39n	
キャブレター		tkhty-eg-p50n	
イグニッションコイル		tkhty-eg-p56n	
燃料タンク		tkhty-eg-p62n	
ナイロンコード カッター		230256n	
ナイロンコード 2.2mm 角		232198n	

消耗品・関連品一覧

商品名		商品コード	
ナットカバー		260-p6-15n	
締付ナット		260-p6-16n	
チップソー	外径 255mm ×40 枚刃	l255p40n	
	外径 280mm ×44 枚刃	204k280sn	
	外径 305mm ×48 枚刃	204k305sn	
ナイロンカッター 楽 DASHI		hg-bc260np034	
作業用エプロン	M サイズ	ht-wapron-mn	
	L サイズ	ht-wapron-ln	
防振手袋	フリーサイズ 指先あり	ht-g01n	
	フリーサイズ 指先なし	ht-g02n	
ガーデンスパイク		233-260587n	

使用することで消耗する部品または劣化する部品は全て保証適用外となります。

ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギア・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等

★上記消耗品をご注文の場合は、下記各サイト又は FAX よりご注文ください。



本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/>



FAX.0276-55-2276 ※次ページのFAXお見積り・注文用紙をご利用ください。

※電話でのご注文は、誤発注・誤発送を回避するため、受付ておりません。
ご迷惑・ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

【見積り・注文の流れ】

■見積りの場合

「見積りにチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文の有無を確認」

■注文の場合

「注文にチェック」→「太枠内ご記入」→「FAX 送信」→「弊社にて正式金額を FAX 又は TEL でご案内しご注文完了」

通信欄

太枠内をご記入ください。

送信日 令和 年 月 日

<input type="checkbox"/> 見積り	<input type="checkbox"/> 注文	ご連絡方法	<input type="checkbox"/> FAX	<input type="checkbox"/> TEL
-------------------------------------	------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------------------------------------

本製品ご購入お客様情報			
フリガナ			
氏名 会社名	様	ご購入時 登録の 電話番号	
ご住所 お届け先	〒 ー	普段繋がり やすい 電話番号	
		FAX 番号	

お届け先情報（上記お客様情報と異なる場合はご記入ください。）			
フリガナ			
氏名 会社名	様	電話番号	
お届け先	〒 ー	FAX 番号	

代金お支払い方法 (お振込み期限 7 日) いずれかにチェック をお願いします。 手数料は、お客様 ご負担となります。	<input type="checkbox"/> 銀行振込 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 代金引換	群馬銀行 館林支店 普通口座 1860509 ゆうちょ銀行 記号 10480 番号 32034181 代引手数料 (1万円未満：330円、3万円未満：440円、10万円未満：660円)	お振込先口座名義人は、 ハイガー・ハイグサンギョウ (カ) となります。
--	---	--	---

★弊社で、この FAX 内容を確認後、正式金額をお知らせ致します。

※銀行振込・郵便振替の場合は、入金確認後の商品発送になります。

※代金引換の場合は、商品お届け運送会社に商品代金＋代引手数料をお支払いください。

商品名	商品コード	数量	単価 (税込) 円	金額 (税込) 円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
			円	円
備考			送料	円
			代引手数料	円
			合計	円

本規約は、ハイガー産業株式会社(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヶ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品到着日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定が出来ない場合、保証が受けられない可能性がございます。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーペン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
 - (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
 - (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡いただきたく存じます。
またはお近くの修理協力店へご連絡くださいませ。
症状・使用状況を伺い、お手順方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料や水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合がございます。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただく場合がございます。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する場合がございます。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しできない場合がございます。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
- ・無在庫転売(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合がございます。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

④送料お客様ご負担で、代替部品を発送致します。

ハイガー産業または販売・修理店

- ②受付
- ③故障内容の確認

故障部品をメーカーで修理する場合

ネット購入や弊社で電話・FAXにてご購入の場合は、弊社にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。

お客様

①故障の状況をメールまたはお電話でご連絡ください。また、故障箇所の写真等を、メールに添付してください。

②送料お客様ご負担で故障装置を発送してください。

⑤お見積り提示。

⑥送料お客様ご負担で、故障装置を発送いたします。

ハイガー産業

- ③受付
- ④故障内容の確認
- ⑥お見積り了承
- ⑦故障装置の修理

故障部品を販売・修理店で修理する場合

まず、ご購入された販売・修理店にご連絡をしてください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。

お客様

①故障の状況をお電話でご連絡ください。その際、持ち込み修理*1か、引取り修理*2か、出張修理*3かを相談させていただきます。

⑤持ち込み修理の場合、修理完了後ご来店ください。引取り修理の場合は、修理完了後お届け致します。
※ご希望に応じて相談させていただきます。

販売・修理店

- ②受付
 - ③故障内容の確認
 - ④故障装置の修理
- *1 お客様ご自身が販売・修理店に製品を持ち込むことをいいます。
*2 販売・修理店がお客様のご自宅まで製品を引き取りに行くことをいいます。
*3 販売・修理店がお客様のご自宅まで行き、その場で修理を行うことをいいます。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記を事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

- お問い合わせ先：下記カスタマー・サポート・センター

販売・修理店

販売・修理店は随時増えています。販売・修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト ▶ <https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト ▶ <https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト ▶ <https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

※ハイガー産業は、顧客満足度100%を目指し、日々製品(部品やカラーも含め)の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。

「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。



24時間365日
無休受付



カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口

<https://haige.jp/c/>



ハイガー産業 株式会社
〒370-0603
群馬県邑楽郡邑楽町中野5298-1
ハイガーオフィシャル 検索
<https://haige.jp/>



緊急の方へ

電話窓口

ご協力をお願い

重要なお問い合わせ

0276-55-2275

○受付：月～金曜日 10:00～15:00 ○受付中止：月～金曜日 12:00～12:50
◎定休日：土曜日、日曜日、お盆、年末年始、GW

お電話が殺到しており、繋がりにくい状態が、続いております。ご迷惑をおかけしますが、緊急の場合を除き、インターネットからお問合せください。お電話を頂く場合は、上記の URL のカスタマー・サポート・センターの「お問合せフォーム」を必ずご参考のうえ、お問い合わせください。ご対応に必要な事項が記載されています。